

しずかな深い海（かがたそう利田層）からはじまり、
1,500万年前、
「はげしい海底火山の海」へ（おぎのそう荻野層）



図5 おぎのいしさいせきじょう 荻野石採石場「まるしょう丸正石材」（左）と荻野石を利用した時計台（右）

会津の海の始まりは、かがたそう利田層とよばれる泥岩の地層から考えて、しずかな深い海が想像されます。そんなしずかな海に、1,500万年前、海底火山の活動がはじまったのです。はげしい火山活動は、東北日本の日本海側を中心とするグリーンタフ地域でおこりました。このときのたいせき物が、りよくしよくぎやうかめん緑色凝灰岩です。

高郷では、「おぎのいし荻野石」とよばれ、とても美しい緑色をしています。緑色になるのは海底火山から噴出された火山灰が厚くたいせきし、地下の熱や圧力をうけて、へんしつこうぶつ緑色の変質鉱物がつくられるためです。

現在は、火に強く加工しやすいなどの性質から、建築石材などに広く利用されています。1,500万年前から現代への「プレゼント」…でしょうか。



図6 グリーンタフ地域（緑色の部分）